

平成29年度事業報告書

平成29年4月1日 から 平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 まつもと子ども留学基金

1 事業の成果

- ・ 原発事故による被曝を避けるために、女子高校生2名と中学生1名が寮生活を送り、男子中学生2名はホームステイ型の生活によって地域の学校に通学。中学校を卒業した女子中学生1名は松本市内の高校に進学し、男子中学生2名は福島県内の高校へ進学した。
- ・ 通年保養及び現地見学会の実施により、被災地の住民が寮に滞在して、放射能影響の低い地域で一定期間過ごすことができた。きれいな水・空気のある豊かな自然環境の中で子どもたちが安心してのびのびと体を動かす機会になり、被曝低減また心身のリフレッシュに繋がっている。また、汚染地から物理的に離れることで汚染の状況に対して客観的に考えることができ、孤立しがちな保護者同士の交流親睦及び放射能影響地域外の支援者等との繋がりをつくる機会になった。
- ・ 自主避難者の借上げ住宅支援打ち切りにより、長野県外から松本市内に移住を決断した家族に新天地での生活をスタートさせるためのサポートを行なってきた。保護者不在時に子どもを預かるなどの子育てサポートや、留学生やスタッフとの交流によって孤立することがないように配慮を行った。また、保養参加者との交流の場を持ち、被災地の状況や移住生活についての情報交換の機会を作った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	A 当該事業の実施日時 B 当該事業の実施場所 C 従事者の人数	D 受益対象者の範囲 E 人数	事業費の金額 (単位:千円)
1 留学事業	①原発事故による避難先として、健全な生活環境を提供するための寮の運営	A 通年事業 B 松本市四賀地区 C 20名	D 東日本大震災により被災した子ども E 7名	10,839
	②学習サポート事業	A 通年 B 松本市 C 10名	D 東日本大震災により被災した子どもと E 7名	175
	③子ども留学支援会議	A 通年 B 松本市四賀地区 C 10名	D 寮生 E 1名	0

2 体験活動事業	① 保養及び現地見学会	A 通年 ① 春期 4/3~4/6 ② GW5/3~5/7 ③ 夏期 7/23~8/24 ④ 見学会 10/7~10/9 ⑤ 秋期 9/9~9/10、 9/29~10/5、 11/2~11/5 ⑥ 見学会 12/23~12/25 B 松本市、安曇野市 C 20名	D 本活動に関心のある市民及び子ども E 72名	693
	② 学習会 ・陶芸教室	A 3月3日(土) B 松本市 C 5名	D 避難者・一般市民 E 10名	30
	③ ・卒業旅行 ・スキー遠足	・卒業旅行 A 3月17~19日 B 岐阜県 C 10名 ・スキー遠足 A 1月28日 B 長野県 C 2名	D 寮生、被災した子ども E 7名	185
3 里山地域の保全に関する事業	① 敷地内及び周辺環境整備	A 通年 B 松本四賀地区 C 20名	D 寮生及び地域住民 E 10名	17
4 調査研究、講師派遣事業	他地域の取り組みについて調査研究及び本取り組みについての講演会及び現地説明会活動 a. 講演会活動 ・パルシステム ・ビハーラ長野 ・ハッピーアイランド b. 保養相談会 ・6月3日(いわき) ・6月4日(二本松市) ・11月18日(郡山市) c. 現地説明会 d 交流会 ・10月14日~15日(山梨県・うけいれ全国) ・10月28日(神戸市・ほよかんさい) ・2月3日~4日(二本松市・ほよっと全国交流会)	A 適時 B 東京、福島、長野、山梨、兵庫 C 20名	D 不特定多数 E 300名	105

(2) その他の事業（特定非営利活動に係る事業以外の事業）

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の 金額 (単位：千円)
物品販売事業	実施なし	実施なし	